

タイトル	5 . 自分はどんな仕事に向いているか
------	---------------------

ねらい 成果	キャリア学習。貿易ゲームは本来南北の貧困問題を考えるための教材であるが、それを自分に向いている職種を考える教材として活用する。その後、職業適性検査で自分の適性を考え、どんな職種や業種があるのかを学ぶ。
-----------	--

	時間	ねらい/目標	活動内容/問い プリント 形態 手法
1	05	前回のふりかえりをする。	プリント 『voice』 (1)出席を取る。 (2)前回のワークをふりかえる。 ・言葉に対する興味ができたとある。
2	45	貿易ゲームをする	形態 3 ~ 6 人組。 プリント 『貿易ゲーム』 (1)目的とルールを説明する。 (2)トランプで5つのグループに分ける。 ・途上国 A B (5 ~ 6 人)、中進国 C D (4 人)、先進国 E F (3 人) (3) A ~ F の指定した席に座らせる。 (4)作業に入る前に、3 分間、作戦タイムを設ける。 (5)製品は 5 枚セットで、世界銀行 (先生) に持ってきて、規格検査に合格すれば、金額を記入した世界銀行券にもらう。 (6)途中で、3 分間作戦タイムを設ける。 (7)途中で次の施策をする。 ①はさみの貸し出しをするが、作った製品の価格は半額になる ② A C に紙を 5 枚ずつ供給する。 ③ E F にシールを貼ると価格が 3 倍になることを教える。 ④ B D に色紙を 3 枚ずつ供給し、3 倍になることを公表する。 ⑤同じ製品が 4 セット以上できると、その製品の価格を半額にする。 ⑥製造のない製品があれば、価格を 2 倍にする。 ⑦新たに色紙で直径 9 cm の円を設定し、価格を 8 0 0 0 \$ にす

			<p>る。</p> <p>(9)ゲームを終了する。</p> <p>(10)金券と紙幣の合計をさせる。</p> <p>(11)合計を発表させ板書する。</p>
3	15	自分の職業適性を知る	<p>プリント 『職業レディネステスト』 『職業レディネステストの見方』</p> <p>(1)質問に回答させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味検査は左上、自信検査は右下。 <p>(2)集計する。</p> <p>(3)換算表に集計値を記入し、換算する。</p> <p>(4)プロフィールに換算値を記入し、グラフを作る。</p> <p>(5)6つの領域で、自分の高い数値の領域を見る。</p>
4	15	ふりかえりをする	<p>プリント 『貿易ゲーム～ふりかえりシート～』 『経済の仕組みはどんなになっているのか』</p> <p>(1)各自で記入させる。</p> <p>(2)グループで交流させる。</p> <p>(3)貿易ゲームの中で起こったことを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①先進国は、道具（技術）はあるが紙（資源）がない。 発展途上国は、その逆。 ②紙の支給、価格の変動、シールの意味。 ③工夫の余地。 ④ゲームの中での個人の役割と適性。
5	15	世の中にはどんな仕事があるかを知る。	<p>プリント 『どんな仕事があるのか』 『私が興味ある仕事』</p> <p>(1)多くの方は会社で働くことを説明する。</p> <p>(2)業界と業種を説明する。</p> <p>(3)職種を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの会社の中にも、さまざまな仕事がある。 ・ラインとスタッフと管理部門の違い。 ・各部門での職種。 ・自分の適性と好み。 <p>(4)業界ごとに実際の企業名をあげさせ、社会への視野を広げる。</p> <p>(5)職業適性テストや貿易ゲームを通して考えた自分の職業適性について考える。</p>

			(6)来週までの宿題にする。評価の対象になる。
7	05	本時をふりかえる。	<p>プリント『ふりかえりシート』</p> <p>(1)本時のふりかえりを書かせる。</p> <p>半分以上書くこと。</p>

準備	<p>『貿易ゲーム』『貿易ゲーム～ふりかえりシート～』『経済の仕組みはどうなっているのか』『私が向いている仕事』『私が向いている仕事の見方』『どんな仕事があるのか』『私が興味ある仕事』</p> <p>はさみ(6)、定規(6)、直角三角形の型(2)、半円の型(4)、コンパス(2)</p> <p>鉛筆(6)、ザラ紙(40枚)、色上質紙(6)、紙幣(18)、付箋(10)</p>
----	---

Voice

5. 自分はどんな仕事に向いているのか

6月2日

生徒の満足度

満足度	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
人数										

生徒の感想

①グループで協力し合って一つのことをやるって言うのはすごく楽しかった。グループでやるとこの人はこれが得意だと言うのが分かって良かった。②みんなで協力することを学んだ。③最初は一番貧しかったのに最終的にお金をもらえた。やり方を考えた。④自分がどんな職業に向いているのかもよく分かったし、自分に本当に向いているのか気になりました。⑤自分が一番何をしているかで向いている職業がわかった気がする。⑥経済のことが分かりやすく知れてよかった。⑦人材や資源を上手く使ってお金儲けしなければならないと思った。あと情報は洩らさない方が良いこともわかった。⑧頭を使って要領よくお金を稼ぐのは難しい。⑨貿易ゲームはめっちゃ色々な人と話できると思った。話したことない人と話せて楽しかった。友だちが増えそうだなと思った。⑩それぞれ自分の仕事を分担しないとスムーズにも、自分の思ったようにもいかないと感じた。⑪グループで役割があって、手際よくできたので2位になりました。頭を使って道具を手に入れて、なかなか大変でした。⑫他のグループと交渉したりするのが難しかった。社会に出ても役立つそう。⑬お金を稼ぐために色々工夫しているんだと思ったし、働いた分だけその結果が付いてくると思った。⑭取引する人も、どのくらいのを、どのくらいのものとの交換するのかを考えなくてはいけない。⑮作っている途中のものが値下がりするとショックだった。

教師の感想

さすが貿易ゲームである。盛り上がった。最初は手さぐりだったが、時間が経ち要領が分かっているに従って動きが活発化してきた。一人残らずゲームに積極的に参加してくれた点では大成功だった。途中のいくつかの変動にも対応していた。

しかし、あまり熱中しすぎて疲れたせいか、また暑さのせいか、ちょっとトーンダウンしたような気もした。貿易ゲームのふりかえりがほとんどできなかったことが気になった。グループワークの生命線はふりかえりなのだからしっかりしなければならない。職業レディネステストや、講義は時間のせいもあって慌ただしかった。集中力の切れた生徒も何人か見受けられ、反省材料だった。しかし、2時間も熱中し続けることは大量のエネルギーが必要だ。